

平成 25 年 2 月 1 日



がんばろう! 東北

国営みちのく杜の湖畔公園
Michinoku Lakewood N.G.P

NEWS
RELEASE

『第11回 かまくらまつり』かまくらの制作を始めます！

平素より、みちのく公園の管理運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

みちのく公園では、2月8日(金)～11日(祝)の4日間、「第11回 かまくらまつり」を開催するにあたり、2月2日より、かまくらなどの雪造形物の制作を始めます。今年は「ふるさと村」に、秋田県横手市と同クラスとなる直径3.6m、高さ3.6mの「かまくら」を4基、子供達に大人気の長さ約20m、木々の間を滑りぬける「雪のすべり台」を3レーン作ります。

制作期間中も通常通り開園いたしますので、作業員の方々の熟練した技術が光る制作過程をご覧いただくことができます。今回のニュースリリースでは、制作過程すなわち「かまくらまつり」の“舞台裏”をメインにお伝えいたします。

過年度かまくら設置状況



ニュースリリース配信先：宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ
山形県政記者クラブ・山形市政記者クラブ・福島県政記者クラブ・福島市政記者クラブ

お問い合わせ先

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター(担当/平塚・田中・清島)
TEL:0224-84-5991 FAX:0224-84-5992
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9

ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/> “みちのく公園”で検索

【かまぐらとは？】

かまぐらとは秋田県など日本の降雪地に伝わる小正月の伝統行事であり、雪で作った「家」（雪洞）の中に祭壇を設け、水神を祀ります。

一般には、伝統行事で作られるものに限らず、雪洞自体が「かまぐら」と呼ばれ、かまぐらの語源は、形が竈（かまど）に似ているから「竈蔵」であるとする説や、神の御座所「神座（かみぐら）」が転じたものであるとする説などがあります。



【みちのく公園のかまぐら】

かまぐらと言えば、秋田県横手市のかまぐらが有名ですが、みちのく公園「かまぐらまつり」でも、横手市と同クラス「直径・高さ 3.6m、壁厚 60cm」のかまぐらを作ります。今年は園内のふるさと村に4基のかまぐらを制作します。中には8人ほど入ることができます。（気象条件の関係上、融雪分を考慮して制作してあります。）

【制作日程・行程(予定)】

みちのく公園の雪造形物は笹谷峠の良質な雪を使って作ります。かまぐら1基あたりに使用する雪の量は、約 37 m³（10tトラック約4.6台分）となり、当イベントでは、4基制作するため約 148 m³（10tトラック約 19 台分）となります。そのほか、雪のすべり台、雪あそび用、修景用の雪まで含めると全体の雪の使用量は約 700 m³（10tトラック約 88 台分）となります。

※ 10tトラック1回での積雪量を8m³で計算 ※根雪（湿雪）：約500kg以上/1m³

※ 気象条件等により、作業が予定を前後する可能性があります。



2/2~2/5

笹谷峠より雪を運搬します。



2/3~2/5

専用の型枠に雪を詰めます。



2/3~2/5

雪を積み上げ、締め固めます。



2/5~2/7

表面を綺麗に整えます。



2/6~2/7

手で掘り、穴を開けます。



2/7~2/8

水神様を祀って、完成です。

◆雪のすべり台

毎年大人気の雪のすべり台が、今年も3レーン登場します。

【日 時】2/8(金)～11(祝) 9:30～15:30

※期間後も17(日)までお楽しみいただけます。

【場 所】おまつり広場

【備 考】そりをお持ちの方はご持参ください。



◆ゆきん子記念撮影

昔ながらの蓑を着て、かまくら前での記念撮影をお楽しみください。

【日 時】2/8(金)～11(祝) 10:00～15:00

【場 所】おまつり広場

【備 考】自由撮影のため、カメラはご持参ください。



◆雪の結晶をつくろう 【協力】自然解説ボランティア

ペットボトルの中で、雪の結晶をつくって観察します。

【日 時】2/10(日) 13:00～14:30

【場 所】月山山麓の家

【備 考】受付 13:00～13:30、参加費無料、定員 10組



◆なまはげの古民家来訪 【協力】秋田活性化株式会社

「悪いごはいねがあー!!」なまはげが、本荘由利の家からおまつり広場を練り歩きます。

【日 時】2/9(土)～11(祝)

① 11:30～②13:30～

【場 所】本荘由利の家～おまつり広場

【備 考】雨天時は中止



◆秋田名物味噌たんぽづくり 【協力】きりたんぼさいとう

本場秋田のうるち米を使って、囲炉裏で焼き上げるおいしい味噌たんぽをつくります。

【日 時】2/10(日)・11(祝) 10:00～15:00

受付は9:30～整理券配布となります。

【場 所】本荘由利の家

【備 考】参加費 500円/2本、各日 40組



◆かまくら民話がたり 【協力】ふるさと村の民話の会

秋田県の横手市と同クラスの「かまくら」内で、東北地方に伝わる民話をお聴きください。

【日 時】2/8(金)・9(土) 11:00～15:00

【場 所】かまくら

【備 考】2/10・11は「遠野の家」で民話が聞けます。



『宮城かわさき雪まつり』 紹介

【主催】 国営みちのく杜の湖畔公園、川崎町、川崎町観光協会、青根温泉合同会社、(株) ゆらいず、(株) まるみつ

◆宮城かわさき雪まつりとは？

宮城かわさき雪まつりは、蔵王連峰を望む川崎町の誇る、みちのく公園（かまくらまつり）を含む4施設が同時期に開催する、川崎町冬の大型イベントの総称です。

◆セントメリーDE雪あそび

ファミリーからも大人気のセントメリースキー場では「そりフラッグレース」や「リフトビンゴ」など楽しい雪あそびがいっぱい！

【日 時】 2/9（土） 10：00～12：00（予定）

【会 場】 みやぎ蔵王セントメリースキー場

〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字猪ノ沢 3-10 TEL：0224-84-5880



◆青根温泉雪あかり

歴史と情緒漂う青根温泉郷では、2,000基の小さなかまくらにロウソクのあたたかな灯りをともし、幻想的な世界を創りだします。

※とん汁・みそおでんのふるまい（各600名）も実施します！

【日 時】 2/10（日） 15：00～20：30

【場 所】 青根児童公園

〒989-0908 宮城県柴田郡川崎町青根温泉 9-1

TEL：0224-87-2188（じゃっぼの湯）



◆るぼぼも雪あかり

セントメリー向かいの宿泊施設「るぼぼかわさき」では、庭先などにたくさんの雪灯りが登場します。

※期間中の開催時間帯は日帰り入浴料金 100円引きです！

【日 時】 2/9（土）～11（祝） 17：00～21：00

【場 所】 るぼぼかわさき

〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字小屋沢山 39番地

TEL：0224-84-6611



◆SPA & SNOWスタンプラリー2013

期間中に、宮城かわさき雪まつりの会場をめぐる、専用カードにスタンプ2個を集めると、抽選で温泉ペア宿泊券や川崎町特産品セットなどが当たります。

【実施期間】 2/1（金）～28（木）

【スタンプ設置箇所】 国営みちのく杜の湖畔公園・青根温泉じゃっぼの湯 など

※詳しくは、みちのく公園HPまたは、スタンプカードをご覧ください。

みちのく公園 基本情報

「国営みちのく杜の湖畔公園」は南東北の主要都市、仙台市・山形市・福島市からいずれも50km圏内にある、東北唯一の国営公園です。宮城県柴田郡川崎町の釜房ダム湖畔に位置し、蔵王連峰を望む、豊かな水と緑に恵まれた環境です。

平成元年8月に、約62haで開園しました。計画総面積約647haのうち、現在は約321.9haが利用可能となっています。平成26年には全区画、完工予定です。

公園の南地区には、数万株もの季節の花々が色鮮やかに咲き誇る「彩のひろば」や、人気の遊具がそろった「わらすこひろば」、8.5haの芝生が広がる「湖畔のひろば」（ボールや凧など無料貸し出しもあり）など、お子様連れで楽しめる施設がいっぱいです。

また、東北6県の代表的な古民家を移築した「ふるさと村」では、趣き深い風景と当時の生活を体感することができます。

北地区には、気軽にキャンプが楽しめる「エコキャンプみちのく」、ノルディックウォーキングやグラウンド・ゴルフなどでもできる広大な「風の草原」、ドッグランなどもあります。

さらに、昨年7月には「みちのく自然共生園」（16.8ha）が開園。美しい里地里山の再生をテーマに、環境共生や資源循環について学ぶことができます。

○入園料金（団体は小学生以上の入園者20人以上）

	一般	団体	年間パスポート券
大人（15歳以上）	400円	280円	4,000円
シルバー（65歳以上）	200円	—	2,000円
小人（小・中学生）	80円	50円	800円

○駐車料金（1日）

車種	料金
大型（30人乗以上）	1,000円
普通	300円
二輪	100円

○開園およびアクセス情報

開園時間：9：30～18：00（7/1～8/31）

9：30～17：00（3/1～6/30、9/1～10/31）

9：30～16：00（11/1～2月末）

休園日：火曜日、12/31、1/1

アクセス：山形自動車道 宮城川崎ICより約5分

駐車台数：約1,400台